

2014年度 第18期女性学講演会「女性学・ジェンダー研究の現在」
第1部（第2回）

文学とジェンダー

日時：2014年12月13日（土）

午後2時～午後5時

場所：大阪府立大学 I-site なんば 2階

フランス・フェミニズムの先駆者として名高いスタール夫人の著作『コリンヌ』を取り上げます。『コリンヌ』は、優れた女性の悲劇を扱った物語として有名ですが、主人公二人がイタリア各地（ローマ、ナポリ、ヴェネツィア、フィレンツェ）を巡る旅物語でもあります。本講演では、舞台となるイタリアに焦点を当てながら、スタール夫人の女性像を探っていききたいと思います。

2時～3時

終わりの予感—『コリンヌ』のヴェネツィア

坂本千代（神戸大学教授）

『コリンヌ』のヴェネツィアでのエピソードは小説後半の山場であり、イタリアにおける主人公たちの物語がひとまず終わって、その後の破局に向かう直前の話です。作者はなぜ1795年のヴェネツィアを二人の別れの舞台として選んだのか、そこには何が描かれ、どのように解釈することができるのかを中心に、この本の読解の一例を示します。

3時15分～4時15分

絵画・彫像で読み解く『コリンヌ』の物語

村田京子（大阪府立大学教授）

『コリンヌ』では、ヴァチカン美術館やウフィツィ美術館、さらにコリンヌの屋敷などで、絵画や彫像に言及され、絵画・彫像が物語の展開に大きく関わっています。本発表では、絵画・彫像を通して『コリンヌ』における女性像を読み解いていききたいと思います。



4時30分～5時 講演者との質疑応答

対象：どなたでも

参加費：500円（大阪府立大学学生・院生・教職員は無料）

申込方法：氏名（ふりがな）、住所、電話番号を記して、EメールまたはFAXでお申し込みください。

*お申し込みの際の個人情報は、本講座の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。
利用目的以外の使用については、一切いたしません。

申込先：大阪府立大学女性学研究センター

Eメール：joseigaku@gmail.com FAX：072-254-9947

当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

問合せ先：大阪府立大学女性学研究センター TEL：072-254-9948（月～金：午後2時～午後5時）

会場：大阪府立大学 I-site なんば（交通アクセスは裏面をご参照ください。）

I-site なんば 交通アクセス図



I-site なんばまでのアクセス

大阪府立大学 I-site なんば (南海なんば第1ビル2階)

大阪市浪速区敷津東2丁目 1番41号

- ◆ 南海電鉄「なんば駅(中央出口)」下車、南へ約 800m、徒歩約 12 分
- ◆ 地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」下車、南へ約 1,000m、徒歩約 15 分
- ◆ 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1番出口)」下車、東へ約 450m、徒歩約 7 分
- ◆ 地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」下車、西へ約 450m、徒歩約 7 分
- ◆ 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ 420m、徒歩約 6 分

【ご注意】

- ・建物北側の大阪府立大学専用入口からお入りください。
- ・駐輪場・駐車場はありませんので、お越しの際は、公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐輪場・駐車場のご利用をお願いいたします。